

2024年6月28日

施設長 様
医療放射線安全管理責任者 様
核医学施設担当者 様

医療被ばく研究情報ネットワーク (J-RIME)
診断参考レベルワーキンググループ 核医学プロジェクトチーム
(チームリーダー 細野 眞)

診断参考レベルの2025年改訂に向けた調査への協力のご依頼

向夏の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当医療被ばく研究情報ネットワーク (J-RIME) では、2015年に本邦初の診断参考レベル (DRL) を公表し、2020年に第1回の改訂を行って参りました。DRLは医療機器や科学的知見の進歩に伴い定期的な見直しを行うことが推奨されており、核医学分野においては細野眞 (近畿大学) をリーダーとして2025年の再改訂に向けた準備を進めております。

DRLは各施設に対して現況調査を行い、その結果を基に設定や改訂をすることが求められています。このたびは以下の内容で実態調査を実施させていただくことになりました。わが国の核医学診療における放射線被ばくの最適化のための重要な基礎資料となりますことから、貴施設におかれましてもなにとぞ調査への協力をお願いいたたく存じます (調査の項目は、同封の資料をご参照ください)。核医学領域以外については別途ご施設に調査依頼が届きますので、それについてもご協力のほどお願い申し上げます。なお、本調査で得たデータは集計した上で公表されますが、各施設の個別のデータは非公開となります。また、回収するデータは回答していただいた全施設の中央値であり、個人情報には含まれていないため回答いただいた個々の施設が倫理委員会の承認を得る必要はございません。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 調査の方法：webでのアンケート調査 (URL：<https://nmdrl.jsnm.org/>)
(ユーザー名、パスワードはご依頼施設に文書でお知らせしています。)
2. 調査の対象となる期間：7月1日から7月31日
3. 調査データの入力期間：8月1日から8月20日
4. 入力の詳細については、上記サイトに掲載の「記入上の注意点」(PDF)をご確認いただきご回答いただきますようお願いいたします。検定量で無く実投与量の入力にご注意ください。
5. 問い合わせ先：E-mail：drl2025.inquiry@gmail.com 「核医学調査問合せ専用」
6. J-RIMEの構成団体

医療放射線防護連絡協議会、日本医学物理学会、日本医学物理士会、日本医学放射線学会、日本インターベンショナルラジオロジー学会、日本核医学会、日本核医学技術学会、日本画像医療システム工業会、日本歯科放射線学会、日本消化器内視鏡学会、日本小児心臓CTアライアンス、日本小児放射線学会、日本診療放射線技師会、日本乳がん検診精度管理中央機構、日本脳神経血管内治療学会、日本放射線影響学会、日本放射線技術学会、日本放射線腫瘍学会、日本保健物理学会

以上